第11講

社会科学系（4）
ジェンダー

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

次の文章は，社会学者で元東京大学教授でもある上野千鶴子さんが，平成31年度東京大学学部入学式において述べた祝辞の一部です。

1　ご入学おめでとうございます。あなたたちは激烈な競争を勝ち抜いてこの場に来ることができました。その選抜試験が公正なものであることをあなたたちは疑っておられないと思います。もし不公正であれば，怒りが湧くでしょう。（略）文科省が全国81の医科大・医学部の全数調査を実施したところ，女子学生の入りにくさ，すなわち女子学生の合格率に対する男子学生の合格率は平均1.2倍と出ました。（略）この数字をどう読み解けばよいでしょうか。統計は大事です，それをもとに考察が成り立つのですから。

2　女子学生が男子学生より合格しにくいのは，男子受験生の成績の方がよいからでしょうか？全国医学部調査結果を公表した文科省の担当者が，こんなコメントを述べています。「男子優位の学部，学科は他に見当たらず，理工系も文系も女子が優位な場合が多い」。ということは，医学部を除く他学部では，女子の入りにくさは1以下であること，医学部が1を越えていることには，なんらかの説明が要ることを意味します。事実，各種のデータが，女子受験生の偏差値の方が男子受験生より高いことを証明しています。（略）

3　これまであなたたちが過ごしてきた学校は，タテマエ平等の社会でした。偏差値競争に男女別はありません。ですが，大学に入る時点ですでに隠れた性差別が始まっています。社会に出れば，もっとあからさまな性差別が横行してい

ます。東京大学もまた，残念ながらその例のひとつです。学部においておよそ20％の女子学生比率は，大学院になると修士課程で25％，博士課程で30.7％になります。その先，研究職となると，助教の女性比率は18.2％，准教授で11.6%，教授職で7.8%と低下します。これは国会議員の女性比率より低い数字です。女性学部長・研究科長は15人のうち1人，歴代総長には女性はいません。（略）

4　あなたたちは選抜されてここに来ました。東大生ひとりあたりにかかる国費負担は年間五百万円と言われています。これから4年間すばらしい教育学習環境があなたたちを待っています。そのすばらしさは，ここで教えた経験のある私が請け合います。あなたたちはがんばれば報われる，と思ってここまで来たはずです。ですが，冒頭で不正入試に触れたとおり，がんばってもそれが公正に報われない社会があなたたちを待っています。そしてがんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが，あなたがたの努力の成果ではなく，環境のおかげだったことを忘れないようにしてください。（略）

5　あなたたちのがんばりを，どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを，恵まれないひとびとを貶めるためにではなく，そういうひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず，自分の弱さを認め，支え合って生きてください。

（法政大学　キャリアデザイン学部　2020）

生徒メモ欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

この式辞を通して，若い人たちの生き方に関して，上野さんが伝えようとしているメッセージは何でしょうか。そのことについてのあなた自身の意見を400字以内で述べなさい。(句読点も字数に加える。)

(注)　上野さんの意見への賛同を求めているわけではありません。意見を踏まえたうえで，賛同するにせよ，そうでないにせよ，論理的で説得力のある答案の作成を心がけてください。

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

(　　　　字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　この式辞を通して上野氏は、成果の陰に様様な人のサポートがあることへの感謝の気持ちを忘れないこと、今度はサポートする側になるために努力していくことが大切であると伝えようとしていると思う。

　上野氏が述べる「成功は努力の結果ではなく、環境のおかげ」という考え方に私も賛同する。同様の努力をしても、全員が成功できるとは限らないからだ。一方で、自分が成功する環境を見つけ、それを上手に利用することも能力の一つであると思う。実際に東京大学に入学できた学生達は、受験勉強という努力をした結果、最適な環境で学べる立場を手にしている。受験勉強の成果を出せたのも、経済的に恵まれ、高度な教育を受けることができていた等の環境要因はあったかもしれない。しかし、その環境も適切に活用できなければ成果は出せないだろう。成果が出た者は、成果が出たことに感謝し、次の成功者を生む側に立つことが必要だと考える。

(395字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　上野は「がんばってもそれが公正に報われない社会」と批判的な表現をしているが、この式辞で伝えたいことはそのような社会に飛び込んでいく覚悟であると思われる。

　東京大学の新入生は努力を評価された、いわば「勝ち組」であるために、努力が報われなかった「負け組」への想像力が求められる。男性優遇の不正入試のように、本人の非に無関係な不平等や立場による不平等が存在する。例えば、店員がどれほど正論を述べようとも客のクレームへの謝罪を求められることがあり、スポーツの場では、自身の努力は偶然や他の選手の記録の前に無価値になることがある。現実社会は努力と評価は直接的に結びつくことはないと言えるだろう。

　評価は様々な要因の結果であり、自身の努力だけによるものでないことを理解し、公正な評価を得られずとも努力し続けることや、物事の結果と他者の努力を分別して評価することなどが重要なのではないだろうか。

(398字)

生徒メモ欄

教員記入欄

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄